

JE1PPG 石井さんの思い出

JA1WOB 齋藤 章

JE1PPGの石井さんが、F2層の彼方へ逝ってしまいました。

訃報を聞いてフェイスブックを見たのですが、まだ石井さんの息づかいが感じられていましたし、ほぼ、毎日の様に「石井さんが近況を投稿しました」のEメールがフェイスブックから届いていました。とても、信じる事が出来ませんでした。

石井さんが240グループに入った頃は、あまり親しくはなくて、年に何度かあるイベントやミーティングで話をする程度でした。

石井さんの仕事からの想像では、アウトドア一派では無く、インドア一派で、書齋にこもり本を読んでいて、飽きると無線運用をする様なイメージでした。

しかし、時々、240の掲示板などで「猪鍋の会」や「山ごもり」をするなど掲載されているので、アウトドア一派かなとも思っていました。

私が移動運用の話をする時、「いいですね、今度一緒に行きましょう」と云ってくれました。

ただ、移動運用をしている石井さんのコールをあまり聞いた事はありませんでしたし、移動先から呼ばれる事も有りませんでした。50Mhzではなくて、430Mhzでの山移動が多かった様の後で聞きました。

2009年10月に、東大和の緑地公園で、430MhzでCQをコールしていると、JE1PPG局からコールがあり、ラグチュウーとなり大菩薩峠の一泊移動運用が決まりました。

朝5時に自宅の立川を出発して、5時半には八王子インターから中央高速に入りました、私が先行していたので、後から来る、JE1PPG/JH1DXJの車待ちで、談合坂でトイレ休憩、車の戻るとJH1DXJ局からコールがあり、談合坂を出発して、大月インターあたりで、ランデブー走行になりました。

勝沼インターで降りて、20号から上日川峠へ向かう林道に入り、ロッジ長兵衛、近くの県営駐車場に、7時半位に到着しました。

山登り支度を整えて、30位歩くと、石井さんがいち早く休憩を取りました。あまり調子が良くなかった様子でした、この頃から具合が悪かったのだろうか？

大菩薩峠の移動運用は、フレンド局とのサブライズアイボールなどがあり VYFBでし



大菩薩峠で昼食時の石井さん

た。

その夜のキャンプ・ディナーで、石井さんがバリバリのアウトドア一派で、日本日向ぼっこの会、たき火の会、など面白い会のメンバーでした。

また、大菩薩は少年の頃からの遊び場だったようで、いろいろな事を教えてくれました。この大菩薩峠と一緒に移動してから、より親しくなった様に思います。

そして、2010年から電波伝搬実験のコントロール局を私が行う事になり、サポート役には、即、石井さんをお願いしました。

早朝に赤城の地蔵岳(1673m)でコントロールを行うので、前日は大沼湖畔にあるキャンプ場でテント泊の計画をしました、キャンプが不得意な私にとっては、石井さんが同行してくれることで、大変心強かったことを覚えています。

あいにくの霧雨で、薪が不機嫌なために、手こずりましたが、火起し名人の石井さんの手に掛かると、不機嫌な薪も元気を出して燃え上がり、硬い備長炭も赤くなり無事、火起しも出来ました。

ビールで乾杯して、キャンプ・ディナーとなりました。

メインの網焼きの焼肉&ホルモン焼きを美味しく頂きました。

そして、西部劇に出てくるに野宿シーンの様に、たき火を見ながら、私が持って行ったギターを弾きながら、山の話や、無線の話や、もろもろ話しました。

ちょっと、ギターのチューニングがズレていた様で、ギターチューニング名人の石井さんが、チューニングしてくれて、FBな音になりました。石井さんは色々な名人なんですね。この日のキャンプも、忘れられない思い出となりました。

翌日、八丁峠から地蔵岳に登り、霧雨の中、電波伝搬実験のコントロールが無事出来たのも、JE1PPG石井OMのサポートのお陰と感謝しています。

再度、一緒に、キャンプ、山登り、移動運用をしたかったのに残念です。 合掌



赤城大沼のキャンプ場での石井さん

おわり